



# 羽中だより



目標 Keyword

令和6年5月9日号

安心感

寛容力

主体性

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生



## たくさんのご来校、ありがとうございました！

### R6PTA役員（敬称略）

- 会長 奥山圭子②
- 副会長 大山亜美①
- 成澤淳子③
- 総務委員長 長瀬由妃③
- 会計 金子美幸③
- 上浦真之介(事務)
- 監査 高橋篤子①
- 栗林郁子②
- 事務局長 山形 勉(教頭)
- 事務局次長 菅原克明(教務)

1年間、よろしくお願いします！



### 4月27日（土） 授業参観、懇談会、PTA総会

## PTA活動を見直しましょう！

授業参観には約70名の保護者のご来校がありました。ありがとうございました。その後の全体懇談会やPTA総会に残って参加して下さった方にも感謝いたします。

PTA総会では、前年度会長の竹内雅彦さんからの開会のご挨拶にて「PTA活動が会員の皆さんの負担にならないよう、活動内容の見直しを考えましょう」と、ご示唆いただきました。また、同年度総務会長の栗林優樹さんには全体進行を、副会長の木村康治さんには総会の議長をそれぞれ担っていただきました。ありがとうございました！

役員改選においては、新会長の奥山圭子さんをはじめ、新たな役員承認をいただき、今年度のPTA役員は上記のメンバーとなりました。

なお、PTA活動に関しては、前会長のご挨拶のとおり、今年度から少しずつ内容を見直し、来年度に向けて組織も予算も縮小していこうと考えております。これは、保護者のご負担を軽減させることと同時に、我々教職員の負担軽減にもつながります。全学年が2クラスずつ設置され、生徒数が200名程の時代から

組織も内容も変わっていないこと、そして、コロナ禍で一切の活動ができなかったことを踏まえ、根本を見直さなければならない時期が来たと考えております。

今からの活動の変更は難しいと思われるので、今年度1年間かけて、皆さんにご意見を伺いながら…

- ① 役員の数  
現在10名→少人数にして機動性のある組織に。
- ② 専門部の編成  
広報部の位置づけと他の部の業務内容を精選。
- ③ 予算の使い道  
会費の多くを部活動に費やしている現状の改善。

…の3点を中心に検討を重ねていく予定です。今後のご協力をお願いいたします。

取り急ぎ、今年度の業務については、広報部の「PTAだよりの廃止」、生活育成部の「祭典巡視の取りやめ」、学級PTAの「活動内容の精選」をそれぞれで進めていただきたいと考えております。

以上、よろしくお願いいたします。 【校長】

私たち大人が受けてきた学校教育は画一的で、テストの点数や宿題の提出率などで成績が決まっていますが、現在は新たな学力観として思考力や判断力、表現力が成績を決める一つの要素になっています。

今後は、先生が一方向的に説明をして生徒は黒板をノートに写す授業ではなく、仲間と相談しながら答えを導いたり、自分で課題を見つけて解決したりする学習を進めていきます。また、与えられた宿題や課題のみに取り組むのではなく、自分に必要な学習に主体的に取り組めるよう、サポートしていきます。

4月27日の全体懇談会での、教務部・指導部の各部長からの保護者の皆さんへのお話の概要です。

「生徒指導」とは本来、きまりを守らせたり、問題を起こしたことを厳しく指導したりすることではなく、子ども一人一人の健やかな成長へのサポートのためにあるものです。

また、中学生は問題を起こしたり、課題があったりするの当たり前だと捉え、それを「悪いこと」ではなく「成長するきっかけ」と考えてほしいと思います。そのためには、ご家庭でのご協力が不可欠であり、学校と保護者が同じ方向を見て指導に当たっていきましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

全体懇談会において、校長の私からは以下のようなお話をいたしました。

今年度の学校教育目標の3つのキーワード「安心感、寛容力、主体性」に関連して、「誰もが安心して学べる環境にすること」「誰でも受け入れる心をもてるようになること」「自分で判断して行動できる社会人のタマゴになること」を大切にしたいこと、育てたいこととして挙げました。これは、学習指導要領で「思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。」とされていることが根拠になっています。また、これらを実現させるためには、学校の働き方改革を積極的に進め、先生方のカラダとココロに余裕を生み出すことも必要だと考えています。そのため、ご家庭には暴言や恫喝まがいのクレームをご遠慮いただき、先生方のメンタルが壊れることのないように、ご理解とご協力をお願いします。

※詳細は、当日配布の資料をご参照ください。

## 前期生徒大会

5月2日



### 生徒会長 開会のあいさつ

1年生の皆さんには初めての経験になりますから、改めて、この生徒大会の意味について、少しお話ししたいと思います。

この生徒大会は、私たち生徒の代表である常任委員会や生徒会本部が提案したことを生徒全員で話し合い、決定して、実行に移していく上でとても重要な会議です。

これはつまり、羽幌中学校の未来を全校生徒の皆さんで決める会議ということです。そのため、今から話し合うことは自分の未来に関係することだという意識を忘れず、一人一人が真剣に取り組んでほしいと思います。

この学校を「ワクワクする学校」にしていきたいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

【生徒会長 〇〇】

「ご意見ありがとうございました」会長や委員長が必ず「枕詞」としていたフレーズです。質問や意見を発言する人も同様でした。相手の意見を否定せず、受け入れてから検討する。ステキな伝統です。

大会後、全校生徒には、「話し合いで大切なことは「否定しない」ことである」を伝えました。話し合いが上手になると、学級や生徒会の活動が充実し、各教科の学習にもより深まりが出てくるものです。

「話し合うチカラ」は、将来必ず役に立つ資質・能力の一つです。

**民主的で自治的な生徒会活動を期待します！**